

## 平成28年度「市町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果について

「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）」の実施状況により、検診体制の実態や、今後重点的に強化すべき体制面の課題を把握することを目的に、平成21年度から継続に実施しています。

### 1 チェックリストの使用に関する実態調査について

- ・市町村におけるチェックリストの使用に関する実態調査は、毎年、国立がん研究センターが都道府県を通じて各市町村に対し行っている。
- ・また、国立がん研究センターの自治体向けホームページにおいて都道府県単位での集計結果が公表されているが、平成28年度調査から同センターのホームページにおいて市町村別のチェックリストの遵守率が公表される予定。
- ・本県では、精度管理向上に資するため、平成26年度から市町村単位の調査結果を県ホームページにおいて公表している。

### 2 平成28年度チェックリスト調査

- ・平成28年4月に改訂された「事業評価のためのチェックリスト」により調査が行われた。なお、本調査から集団検診・個別検診それぞれの実施体制について回答しており、チェックリストの項目数は次のとおり大幅に増えている。

＜項目数＞

	平成22～27年度	平成28年度～
胃がん検診	37	51
大腸がん検診	38	51
肺がん検診	36	50
乳がん検診	40	54
子宮頸がん検診	40	54

※国立がん研究センター「平成28年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査結果報告書」を基に作成。なお、肺がん検診に係る事業評価のためのチェックリストは54項目あるが、喀痰細胞診を実施していない市区町村もあるため、喀痰細胞診に関する4項目を除いて評価しており、県の調査結果等からも除外している。

### 3 調査結果

資料4-2のとおり

### 4 公表方法（案）

資料4-3のとおり

- ・一覧表と併せて、実施状況が視覚的に分かりやすいよう、棒グラフを掲載する。